

議会だより そとがはま

第59号

令和2年2月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

3月6日(金)～12日(木)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



1/28 風のまちこども園ホットケーキパーティー

目次

○第116回12月定例会／2～5

○一般質問：6議員が登壇／6～11

○視察研修レポート／12～14

○議員表彰・活動報告／15

○ようこそ議会へ／16

28議案を可決

12月補正予算・町条例の一部改正案 青森市との連携協約の締結など

12月定例会

第116回定例会は、12月9日から11日までの3日間の日程で開催しました。

補正予算案、町条例の一部改正案など合わせて28件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問は、6人の議員が登壇しました。内容については、通告順に6～11ページに掲載します。

主な質疑

職員の給与

（外ヶ浜町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案について）

問 県の人事委員会の勧告に基づく職員の給与の改定は、若い人、中級者、退職が近くなった課長たちのどの層に重きを置いているのかを伺う。

答 今回の改正は、若手層に重点を置いた改定となっており、大卒程度の初任給を1500円、高卒初

任給を2000円引き上げて、これを踏まえ30歳までの給料を引き上げており、平均改定率は0.13%の増となっている。

（外ヶ浜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について）

問 臨時的に採用された職員に手当を支給するということで、常勤の職員と同じく地域手当、通勤手当、特殊勤務手当、時間外手当、休日勤務手当、夜勤手当、宿日直手当及び期末手当とあるが、これを4月からや

◎定例会において、一部改正案が審議された町条例は、次のとおりです。

- ① 外ヶ浜町議会議員期末手当支給条例
- ② 外ヶ浜町特別職員の給与に関する条例
- ③ 外ヶ浜町職員の給与に関する条例等
- ④ 外ヶ浜町職員の定数条例
- ⑤ 外ヶ浜町職員の公益法人等への派遣等に関する条例
- ⑥ 外ヶ浜町職員の分限に関する条例
- ⑦ 外ヶ浜町職員の懲戒の手續き及び効果に関する条例
- ⑧ 外ヶ浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ⑨ 外ヶ浜町職員の育児休業等に関する条例
- ⑩ 外ヶ浜町職員の給与に関する条例
- ⑪ 単純な労務に雇用される外ヶ浜町職員の給与の種類及び基準に関する条例
- ⑫ 外ヶ浜町職員等の旅費に関する条例
- ⑬ 外ヶ浜町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例
- ⑭ 外ヶ浜町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
- ⑮ 外ヶ浜町固定資産評価審査委員会条例等
- ⑯ 外ヶ浜町印鑑の登録及び証明に関する条例
- ⑰ 外ヶ浜町営住宅設置条例

※①～③は青森県人事委員会の勧告、④～⑭は地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、それぞれ一部改正案が審議されました。

るとなれば、現状の職員の給与総額プラスどれくらいのか。

答 現状の臨時職員の人数でいって、この条例に

問 より会計年度職員の給与、その他手当が支給された場合、おおむね549万円程度増額となる見込みである。対象の臨時職員の人数は、どのくらいなのか。

答 対象の臨時職員については、役場で雇用している職員が56名である。

問 56名ということであれば、全体で600万円はそう大きな額でもない。会計年度の任用職員にして基本給は余り上げないとい

うことなのか、今の賃金とこれからの賃金がどう違うのか。

答 基本的には会計年度任用職員の給与の条例等に定める役場職員と同じ給料表を基準として割り返したもので、1時間当たりの

基準単価を算定し、おおむね現行の基準単価を下回らないような算定をしており、パートであれば、820円のもの、850円程度になる見込みとなっている。

問 現在、再任用の方も含めてパートで時間が短

答 今現在、臨時パート職員として働いている方々が全て6時間勤務となっている。いわゆるこの方々が、会計年度任用職員となる方々である。

青森圏域連携中枢都市圏連携協約を可決

起立採決で、賛成6・反対4

反対討論

原 芳雄議員

総務省の有識者研究会は昨年7月、自治体が必要な機能を自ら保有する考え方、いわゆる行政のフルセット主義から脱却し、圏域を新たな行政主体として中心都市が業務をけん引する圏域構想を提起する報告書をまとめた。

先に開かれた全国町村長大会では、こうした圏域行政推進は都市部を中心とした行政の集約化、効率化につながるから、周辺の町村が衰退に追い込まれる危険性をはらんでおり、自治権を大きく損なう事実上の合併に当たるとして、断固反対の声明を採択した。

今回の連携中枢都市圏についても、その先を見るときに行政のフルセット化をあげており、その先を見るときに圏域行政と同じような状況になるのではないかと懸念がたかさん出されている。したがって、こうした連携協約を今ここで承認するというについては、反対する。



12月25日、青森市内で連携協約を締結

問 国からの交付税措置のうち、我が町に来る率が青森市に対して10分の1ということだが、この連携をやることによって、各自自治体に費用負担が出てくると、負担する割合も青森市の負担に対して我が町は10分の1の負担ということでは理解していいのか。

答 事業によって負担額の率は変わってくるが、おおむね7割程度が青森市で、あとの市町村が残りの3割を人口割に応じて負担する形になっている。

一般会計

港まつり

問 今回123万9000円が減額になっているが、当初予算の半分近くが減額されたというのは、以前と違って舞台も歌手もイ

12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億5,755万円	57億2,672万円
国民健康保険特別会計	304万円	11億2,373万円
介護保険特別会計	1,869万円	12億8,106万円
下水道特別会計	6万円	2億1,385万円

ベントもなかったためか、その理由を聞きたい。

答 港まつりは町の財政も厳しいということから、事業内容を精査し、支出を抑える検討をして、圧縮した額で実施したので減額となった。今年はこの圧縮した予算で成功したものと考えている。

物産観光振興

問 物産観光振興事業補助金50万円とあるが、この事業の内容を知りたい。

答 令和2年度に東京浅草にある商業施設まるごとにつぼんへ、町の特産物の販売と観光のPRを兼ねて、来年の4月より11月末まで8カ月間出店するため準備費用として計上した。外ヶ浜町では3階にあるフロアの約1坪に、町の特産品を販売するコーナーの出店を計画しており、およそ270万円の出店費用が必要となっている。



シロウオ漁

シロウオ

問 外ヶ浜町シロウオ産卵床造成整備事業補助金について、近年の我が町のシロウオの生産高の推移について聞きたい。

答 シロウオの採取の推移状況だが、令和元年度で232キロとなっている。平成5年からの推移でいくとピークのときで平成21年に664キロ、次に多かったのが平成23年で597キロ、徐々にではあるがシロウオの産卵、捕獲の数量は減ってきている。

縄文遺跡群

問 縄文遺跡群が世界遺産認定ということになれば、一番の問題は駐車場だと思っている。

遺跡群を見に来た人たちに、どこに車を停めさせるかという計画を立てているのか。

答 今後まず大山ふるさと資料館にガイダンス施設的な機能を持たせ、そこから来て停めてもらって、遺跡のほうに行くという方向で考えている。実際には資料館から大分距離があるが、案内板、道筋等も考えながらやっていきたいと思う。

駐車場に関しては、直接遺跡の方に行く方も想定される。公有地化を進めている場所もあるので、臨時駐車場のものも考えて対応していきたい。

問 今外ヶ浜町で、外ヶ浜町の物産全てが1カ所にあって、全部をそこで見て回れる、そこに行けば、外ヶ浜町のもので全部買えるという場所はないと思っている。

地元で観光客が来て、そこに物産販売の拠点があれば、外ヶ浜町の全ての物産を見ることが出来る。今回のこの縄文遺跡群の世界遺産認定の機会を活かし、ぜひ物産販売の拠点づくりを町として推し進めていきたい。

答 町としての総合的物産拠点というものはあつたほうがいいと思う。現在、道の駅等で物産等を販売しているが、総合的に全部が揃っているものというのは、ちよつと少ないかなというのを感じている。

今後は、縄文遺跡群の関係のもので話はいろいろ進んでいくと思うので、その点での可能性というものは関係課と協議して、実現可能なものかどうかを考えていきたい。

介護保険特別会計

問 特別養護老人ホームまたはグループホームの充足率と待機者数を、教えてください。

答 充足率については、10月初めの段階で特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームはほぼ満床である。

待機者数は、全部で47名である。

問 特別養護老人ホームあんじんの郷の例で、要介護3の人から施設に入りたいと相談された。しかし、施設長に聞いたら、介護士が足りないために入れないと言われた。先ほど充足率がほぼ満床という話が出たが、そういう施設がもつとあるんじゃないかと思う。ぜひ、介護士や看護師などの職員が足りない場合に、町として採用を手助けするなど、待機者の数をなくす



あんじんの郷

請願

第2号

地元優先発注に伴う請願

【提出者】

外ヶ浜町商工会

会長 辻 善信

【紹介議員】

高坂 茂・三上 満

戎 修

【所管委員会】

産業建設常任委員会

【審議結果】

継続審査

本請願は、12月定例会の初日終了後に開かれた産業建設常任委員会において審議されましたが、閉会中も十分な審査を要するとして、本会議において継続審査と決定しました。

第3号

日米地位協定の抜本改定を求める請願書

【提出者】

青森県平和委員会

代表 阿部 喜美子

【紹介議員】

安藤 英博・原 芳雄

【本会議での採決】

採択 賛成多数

本請願を採択したことに伴い、「日米地位協定の抜本改定を求める意見書案」が議員発議され、採決の結果、可決されました。本意見書は、次の方々に送付しました。

- 衆議院議長 大島 理森
- 参議院議長 山田 昭子
- 内閣総理大臣 安倍 晋三

人事案件

12月定例会では、外ヶ浜町固定資産評価審査委員会委員の選任について、委員の逝去に伴い、新たに小川一彦氏の選任が提案され、投票の結果、賛成多数で原案のとおり同意しました。

任期は、前任者の残任期間である令和2年6月22日までです。

また、人権擁護委員について、委員の逝去に伴う候補者として久慈峰悦氏が、任期満了となる委員の後任者として沼田睦子氏が、それぞれ推薦され、審議の結果適任と答申することに決定しました。

任期は、共に令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間です。



安藤英博議員

年金の少ない高齢者、障がい者の方々に

福祉灯油の助成を

■答弁▼今後の灯油価格の動向を注視し、検討する

◆質問／県内で外ヶ浜町は高齢者比率で2番目であり、お年寄りの方々は少ない年金でやっとの思いで生活している。この町を支えてきた人たちが、ぜひ今年こそ福祉灯油を実施することを求める。

■町長／1リットル当たり単価が100円を超えた場合を目安として、今議会に福祉灯油購入助成経費を予算計上した。

◆再質問／昨年は、灯油が今別町で3缶、蓬田村で4缶支給されたが、外ヶ浜町は実施されなかった。高齢者支援対策として、東郡足並みを揃えて外ヶ浜町でも福祉灯油助成をするよう再度再質問する。

冬期間の高齢者、障がい者世帯に雪片づきの支援・対策を

◆質問／外ヶ浜町でお年寄りの方々や障がい者の方から雪問題での行政へのお願いや、悩み、苦情などどれくらいあり、また対象者人数はどれくらいあるのか。

■町長／除雪サービス事業の対象となる世帯は、75歳以上のひとり暮らし、夫婦のみ、障がい者世帯、親族が居住していないな



ど約920世帯となっている。社会福祉協議会の方々と保健師などと連携を取り、バックアップしてまいりたい。

町からの発注について

◆質問／町村合併から15年、現在町発注の備品、

燃料、消耗品等の発注が公平、対等に実施されているか。また、公共施設や町関連の施設、事業所などに対して外ヶ浜町全体として対応されているのか。公平に業者皆に仕事が行っているのかどうか、答弁を求める。

■町長／灯油などの燃料費については、納入施設

の輪番制など納入方法の違いにより多少の違いはあるが、地区ごとではおおむね同量の発注となっているものと認識をしている。地域経済の発展と事業者の振興、育成のためにも対応できるものは、地元発注に努めてまいりたい。

◆再質問／商工業者の声として、合併して15年経っているのに依然として改善されていないので、直ちに検討すべき課題なので対応を求める。

■総務課長／地元発注に心がけて、地元の不公平感をなくすような形で各課において発注してまいりたいと考えている。



戒修議員

(株)津軽半島エコエネの経理に問題は無かったのか

検証と厳正な対処を求める

■答弁▼これまでの経理については問題なかったと認識していたが

法令・定款等に従った経理業務を心がけるよう指導する

どうこうできる問題ではないと聞いていた。

◆質問／平成24年に制定された役員退職金支払規定があるが、町長はここに規定された退職金を受け取るか。また、この規定を見直す考えはあるか。

■町長／首長が第三セクターから退職金を受け取るのとはおかしいと考えている。規定の見直しは、常勤役員もいるので専門家のアドバイスを受け、検討していく。

支出について

◆質問／この会社の事業活動は、風力発電による売電が100%、その売電先はすべてが東北電力である。

この事業に無関係な支出が何年にも渡ってなされて来た。その代表的なもの、前町長の後援会に対して支払われてきた、マグロ解体ショーの入場券の購入費、前町長の誕生会や息子の県議のパティー券の購入費、更にはこれらのパーティーに出席した取締役に対する日当、宿泊費、交通費などの支出。これら税法上の損金に算入されるはずのない支出をどのようにとらえるか。

■町長／ご指摘の支出は、私が就任前のことだが、この年の9月に決算を受ける際、税理士からはおおむね良好であるとの説明を受けていた。しかし、今日お聞きし

てこれは真つ当な支出ではないと感じている。小学生の傍聴者もいる中で、このような問題が発覚するのは非常に心苦しいところだが、第三セクターのお金は、町のお金、町の皆さんのものであるという点からもしっかりと、隠し事なく調べ、皆さんにお示しするのが筋だと考えている。

専門家の調査を

◆質問／平成29年4月14日に開催されたこの会社の取締役会の議事録によると、任期満了を前に社長を辞職する森内前社長に対し、会社都合の退職として、自己都合の場合の2倍の額の退職金を支

払うことを決定している。これらの行為は、会社法第960条に規定する特別背任の罪に問われる可能性が極めて高いと考える。専門家の調査を通して告訴を視野に入れた対処を一刻も早くするべきと考えるが、ご所見を伺う。

■町長／任期満了前にご自身で早期退職を決めたのは、確実に自己都合退職であると考えているが、自分だけでは専門的な知識が足りないもので、専門家のチームに調べていただき、告訴については調査の段階を経て、検討していきたいと考えている。



石岡 勉 議員

大平山元遺跡の周辺整備について

■答弁▼多額の予算が必要となることから、補助金だけでなく他の財源も探すなど検討したい

◆質問／当遺跡が2021年に世界遺産登録となれば、この地を訪れる人も多くなると予想される。地元の大平地区を核として、広く我が町のアピールや観光開発まで見据えた対策が必要と思う。数

年前に私どもに駐車場・トイレ・休憩所を配置した青写真が示された。今は白紙の状態に戻ってしまったようだが、何らかの整備や対応策等はどうかっているのか伺う。

00円を計上しているが、どのようになっているのか。

■教育長／大平山元I遺跡の南側に新規に施設を建てる案、同所にその規模を縮小した案及び、現在のふるさと資料館の敷地内に小規模の展示案内所を建設する3案で委託し、大体の金額が示された。3案とも多額となり今すぐ取り組むのは難しい。しばらくは現在のふるさと資料館にガイダンス機能を持たせながら運営するが、新たな施設を建設する方針は変えず、実行可能な方法を探ってまいりたい。

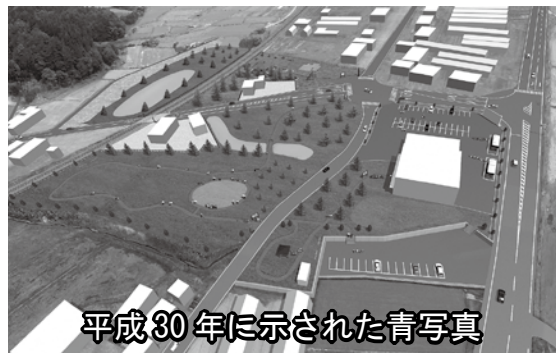
■町長／私が就任以来、総会や会合など中泊町との交流会を開催しているのは事実である。今、担当課で年明けの1月中旬に開催できるように中泊町と調整を進めている。また、中泊町長とこの件について、話したことはあったがすぐにやるという認識ではなかった。担当課に強く指示は出していないかった。

◆質問／今年度の予算の中に展示施設建設の基本設計委託料398万2000円を計上しているが、どのようになっているのか。

■町長／私が就任以来、総会や会合など中泊町との交流会を開催しているのは事実である。今、担当課で年明けの1月中旬に開催できるように中泊町と調整を進めている。また、中泊町長とこの件について、話したことはあったがすぐにやるという認識ではなかった。担当課に強く指示は出していないかった。

◆質問／10年ほど前に当同盟会が設立され2、3回会合もあったが、山崎町長になってから1回も開催されていない。毎年10万円を予算計上しているが、当同盟会の必要性を含め町長の考えを伺う。

◆再質問／相手のある交流事業であり、お互いの良い所や課題を共通認識で捉えることは非常に重要なこと。相手側に失礼のないように、この同盟会のあり方を含め、話し合っていたきたい。



平成30年に示された青写真

◆質問／今年度の予算の中に展示施設建設の基本設計委託料398万2000円を計上しているが、どのようになっているのか。

■町長／私が就任以来、総会や会合など中泊町との交流会を開催しているのは事実である。今、担当課で年明けの1月中旬に開催できるように中泊町と調整を進めている。また、中泊町長とこの件について、話したことはあったがすぐにやるという認識ではなかった。担当課に強く指示は出していないかった。

◆質問／10年ほど前に当同盟会が設立され2、3回会合もあったが、山崎町長になってから1回も開催されていない。毎年10万円を予算計上しているが、当同盟会の必要性を含め町長の考えを伺う。

◆再質問／相手のある交流事業であり、お互いの良い所や課題を共通認識で捉えることは非常に重要なこと。相手側に失礼のないように、この同盟会のあり方を含め、話し合っていたきたい。



記田慶市 議員

蟹田川と蟹田地区の水害対策について

■答弁▼防災減災に対応できる対策と体制を検討する

◆質問／国内の最近における自然災害の頻度と甚大な被害は、今までは想像もつかない出来事が現実として発生している。昨年の西日本豪雨災害に続く、ことし9月、10月の台風15号、19号の日本記録を更新した暴風雨は、未曾有の甚大な被害をもたらした。

51年前の災害を教訓に、関係機関に強力に要請すべきだ。

ら6年かけて河口から上流約1.9キロメートルまで堤防が両岸に建設された。今年度は青森県が蟹田川河川維持の一環で、流域に設置されている水門のうち3基を改良することになっている。

現状の蟹田川堤防は当時の被害をもとに設計施工されたものと推測されるが、どの程度の雨量まで耐えることができるのか、関係機関と検討協議が必要と考えている。

うに囲み、蟹田川堤防と繋がっている。まるで盆地の中に蟹田地区が入っており、蟹田川の堤防を超えるような雨が降った時には、浸水した水の出口が限られており、甚大な被害が予想される。

■町長／昭和43年8月豪雨に関しては、蟹田地区での被害は全壊流出25棟、床上床下浸水421棟、平館地区では7河川で被災、三厩地区藤島では家屋3棟が流出したと伺っている。

今年度は青森県が蟹田川河川維持の一環で、流域に設置されている水門のうち3基を改良することになっている。

南沢に水位観測所が設置されており、警戒レベルによって住民に避難行動ができるよう対応に努める。

二度と同じような災害にならないよう、次の世代のために、今から防災減災の町づくり対策を、

蟹田川は、この災害か

現状の蟹田川堤防は当時の被害をもとに設計施工されたものと推測されるが、どの程度の雨量まで耐えることができるのか、関係機関と検討協議が必要と考えている。

今後は防災、減災に対応できる対策、体制を検討する。

◆質問／国内の最近における自然災害の頻度と甚大な被害は、今までは想像もつかない出来事が現実として発生している。昨年の西日本豪雨災害に続く、ことし9月、10月の台風15号、19号の日本記録を更新した暴風雨は、未曾有の甚大な被害をもたらした。

昭和43年8月
蟹田川氾濫による
蟹田地区の水害写真



上町地区の様子



中町地区の海岸の様子



中師地区の様子



福井洋一議員

職員構成の事務改善委員会の経過は

■答弁▼町民のための組織機構となるよう協議している

◆質問／6月議会で町民が主体の行政組織となっているのか質問した際、町長は事務改善委員会で役場全体の事務機構を検討すると答弁している。その後の経過について伺う。

■町長／第1回目を7月に開催してから4回開いている。教育委員会の体制、住民課と福祉課のワンフロア化、本庁と支所のあり方等の検討を行っている。

◆再質問／職員の定数管理や財政も含め課長の意見を取り入れ、今後の町のあり方、目的を示し協議をさせるべきではないのか。

■町長／今回、自分たちが課長となった時の働き

方を認識できると考え、課長補佐と総括班長級で組織した。

◆再々質問／具体的な行政組織について町長、総務課長、教育長が協議し、テーマを示すべきではないのか。

■町長／職員が働きやすい、住民が利用しやすい役場にするのをテーマにした。

協議内容について

◆質問／町長の意見が反映され、町民のための協議が行われているのか。

■町長／町民が便利に利用できるよう意向を伝えているので、町民のための組織になるよう協議していると認識している。

◆再質問／町長がどのよ

うなまちづくり、町民のための行政組織にするのか見えてこない。その点を伺う。

■町長／町民が不便なく仕事を提供できるよう、職員一人一人が能力を高め、発揮することが必要と考える。

平館地区の町営バスについて

◆質問／中央病院の受診者をふやすためにも、抜本的に町営バスの運行を見直し、利便性の改善を図るべきではないか。

■町長／利用者のニーズに対応し、来年9月に控えた町営バスのダイヤ改正で検討する。

◆再質問／平館地区の町民は、町全体的に考える



平館地区から巡回するバス

と公平感に欠けていると感じており、今冬からダイヤ改正をすべきではないか。

■町長／住民サービスを考え前向きに検討したい。

小中学校の教育環境について

◆質問／小中学校の洋式トイレの設置等、現状をどう改善していくのか。

また、令和2年度以降の予算にどう計上していくのか。

■町長／児童生徒がよりよい環境で学習できるよう、一部はふるさと納税を活用し、令和2年度以降の予算づけをしていく。

寄付された1億6000万円の活用について

◆質問／1億6000万円を活用し、今後どのような学校教育を目指し、特徴のある教育づくりをしていくのか。

■町長／基本計画に基づき、子どもたちが地元で愛着を持ち、この町で暮らす、外ヶ浜町に戻ってくるような施策に努めていく。



原 芳雄議員

合併の検証なしに町の未来図は描けない

検証委員会の設置を

■答弁▼検証委員会を設けず、総合計画作成にあたって

アンケート調査等で検証を行い町づくりを行う

◆質問／11月7日、東奥日報は一面トップで「日弁連の調査で存続自治体に比べて平成合併人口増加」と報じた。合併後平成17年から27年の国勢調査人口の減少率を比較したとしている。

双方とも平成12年時点の人口が約4000人で、距離が近く産業構造なども似通っている条件を満たした47組の調査のうち、9割に当たる43組の合併町村のほうが減少率が高かったと報告している。

調査の比較対象の中に旧蟹田町と蓬田村があり、旧蟹田町の20.6%の減少に対して、蓬田村は14.9%であったとしている。さらに、県が平成22年にまとめた合併の報告は、

合併でどのような課題が生じているのか正面から把握しようとしていない。全国でも珍しい飛び地合併が3例ある中で、効果と課題の分析が行われず、合併の検証として十分なものになっていないと指摘している。検証で得られた教訓なしに町の未来図は描けない。再度検証委員会の設置を求めたい。

■町長／蟹田の減少率は高くなっているが、一方では今別町の減少率は27.6%となっている。上磯全体の減少率も23.2%であるので蓬田村の減少率の低さは際立っている。町は、少子高齢化など様々な問題を抱えている中で、財政状況はますます



こども園園児による高齢者施設訪問

す厳しくなる。合併検証委員会は設けず、令和3年度から始まる総合計画の策定にあたってアンケート調査等を実施し、その成果をベースに総合計画審議委員会ですべての町づくり施策を作っていく。

圏域構想について

◆質問／高齢者が最高となると予想される事を見据えて、国は複数の市町村で構成する圏域を行政主体として法制化し、中心都市が業務をけん引する圏域構想を提起している。全国町村議長会などでは、事実上の合併につながるかと強く反対しているが、町長の見解を求めたい。

■町長／急激な人口減少により行政サービスが立ち行かなくなる市町村が今後発生する可能性が高いため、それに対応する新たな行政単位としての位置づけと考えられる。既存の一部事務組合や広域連合、また連携協約等

青森圏域 中核都市圏

◆質問／突如として青森市を中心とする構想が出てきた。自治体が必要な機能を自ら保有する考え方を脱却する考えがあるのではないか。

■町長／全てを単独でやるのは難しいので、青森市に一括で引き受けていただいたほうがよい。



岩手県金ヶ崎町
秋田県横手市

開かれた議会を目指して

令和最初の議会運営委員会視察研修は、一日目が岩手県金ヶ崎町（かねがさきちょう）へ、二日目は秋田県横手市平鹿町（ひらかまち）へ行ってまいりました。金ヶ崎町は岩手県南西内陸部に位置し、北上市と奥州市にはさまれた人口約1万5千人の、農業を主要産業とした町です。また、岩手県製造品出荷額7位という岩手中部工業団地を有しています。

議会では、議会広報紙が全国コンクールで金賞を受賞するなど、多くの入賞経験を持ち、議会広報の世界では有名な議会です。

今回の視察目的は住民との対話を積極的に行う「出張議会ほっとミーティング」で、議会活性化活動の一環です。金ヶ崎町議会では、以前から議会報告会

ある「ろばた懇談会」を行ってききました。

「ろばた懇談会」とは、議会が住民から要望や意見・質問などを聞き回答します。町政に対する要望は持ち帰り、議会から要望する他、一般質問で取り上げるなど住民の疑問や意見に応えるものです。「ろばた懇談会」を開催するにあたり事前に勉強会を開き、住民と議会のかかわりや議会の仕組み、審議案件や議決状況を住民にわかりやすく説明する努力もしています。本来の目的であった「出張議会ほっとミーティング」とは、この「ろばた懇談会」を希望する各種団体へ出向き、行うものです。議会広報紙などに告知し募集していますが、今のところ自治会などからの希望だけであるということでした。



金ヶ崎町議会と意見交換

今後も各種団体からの希望は募っていくということでした。

我が議会でも今後、町民に開かれた議会を目指し、議会報告会の開催を検討しており、開催の方法や会議のあり方など、今回の研修は大変参考になりました。町民の代表である議会を活性化するためには、議会報

告会などにより町民の意見をお聞きすることが不可欠であると感じました。

二日目の秋田県横手市平鹿町では、廃校になった浅舞中学校の体育館の有効利用について、視察してまいりました。

横手市平鹿町の浅舞中学校は、平成9年の平鹿町統合中学校（平鹿中学校）開校に伴い廃校となり、その体育館部分の有効利用として、浅舞スポーツセンターにリニューアルされました。多雪地域における屋内体育施設として文部科学省の廃校リニューアル50選に選ばれるなど、地域住民の冬期間の健康づくりに大いに寄与しています。床面を撤去し冬期間「土」の上でスポーツできる施設として改装さ



横手市の屋内体育施設を見学

10/23
～
10/24

れました。ゴルフの打ちっ放しができるように整備されており、野球練習・グラウンドゴルフなど様々な利用が可能な施設です。わが町の廃校利用を考えた時、参考になることも多い施設であると感じました。

議会運営委員会

委員長 浜谷 恭市

神奈川県藤沢市
静岡県伊豆市

地域包括ケアシステムと廃校舎の利用を学ぶ

11/5
～
11/8

神奈川県藤沢市では「健康寿命日本一」に取り組んでいる。市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「人・団体・企業」が手を取り合い、地域のつながりを重視し、3つの基本理念を掲げている。

①全世代・全対象型地域包括ケア

②地域の特性や課題・ニーズに応じた取組

③地域を拠点とした総合的・包括的な相談支援体制

このために、「自・互・共・公」4助のバランスが取れた活動を展開している。

①自分のことは自分でする（自らの選択・自己負担）

②地域などで互いに支えあう（相互の自発的な支え合い）



地域包括ケアシステムの説明を受ける

③社会保障制度を活用する（保険料などの負担）
④行政などの公的サービスを受ける（税金による公的負担）

藤沢市では、「民間の力」をうまく取り入れている。その代表例が地域の会館などの活用、社会福祉法人が所有するマイクロスバスや自動車学校の送迎バスの活用、ボランティアポイントの実施である。

行政は、それぞれの活動において地域との調整役に徹し、「地域ぐるみの支え合い」の構築に向けて支援している。

静岡県伊豆市では、旧大東小学校を健康食品工場の発信基地・手作り味噌工場として活用している現状を視察し意見交換を行なった。

廃校が決定後、伊豆市では庁内会議を行い跡地利用について検討。その後、地域住民との意見交換を実施したが、住民から具体的な利活用について提案がなかったため、市で民間による有効活用を目指し、市広報紙やホームページ等で公募を行った。

公募結果について、各区長・市役所・企業の3者による協議を行なったが、旧



旧大東小学校で企業からの説明

大東小学校は体育館とグラウンドが市の指定避難所となっているほか、学校に愛着がある方も多く、民間利用に拒否反応を示す方も多かった。

しかし、地元住民が貸付地を通行せずに避難所となる体育館へ行けるように通路を確保し、企業も地元に寄り添う姿勢をみせていたことから、課題解決に至った。

公共施設の維持管理には経費がかかるので、民間活用によって経費が抑制され、逆に貸借料収入や職員の管理負担の軽減などは市にとっても大きなメリットの一つである。

伊豆市では、平成28年度に策定した「伊豆市公共施設等総合管理計画」の中で、公共施設の延べ床面積を大幅に削減する目標を立てている。公共施設の再配置を進めていく中で、民間による活用は有利な方法であり、大きなメリットとなっている。

伊豆市では、旧大東小学校の利用実例をもとに、今後とも企業による活用を、様々なツールを使って働きかけていく予定だということであった。

外ヶ浜町議会
議長 鈴木 進

岩手県
野田村

岩手県野田村に視察研修



広報紙について説明を受ける委員

今回の議会広報特別委員会の視察研修の目的は、「委員会活動と議会広報の編集について学ぼう」ということで、岩手県野田村に行ってきました。

研修先の野田村は人口4228人で、特産品はホタテ、山ぶどう、伝統的な技法で作る「のだ塩」などです。また平成23年3月11日の東日本大震災で津波による大損害を被りましたが、

たくさんの方の復興事業を経て、村はかつての姿を取り戻しつつあります。研修では、廣内議長ほか担当職員が出席して質疑応答と意見交換をしました。野田村の議会広報づくりで力を入れていることでは、村民の方々に「手にとって見てもらえる広報紙」を目指し、写真や見出しで住民の目を引くように心がけているそうです。

また、議員の一般質問の中で、行政側の「検討する」という答弁に対し、その後、実行されているのか検証追跡して議会広報に掲載することや、広報紙を読めば分かる簡単なクイズをのせ、応募者の中から抽選で商品券を出しているとのことでした。

今後考えていることとして、高校生や農業者などの対談なども広報紙に載せればどうかという意見も出されました。次に、東日本大震災から10年の年月が経ち、今日までの復興状況がどうなっているのか、そして防災活動について教訓などを学んできました。復興展示室に移動し、災害時の映像を見ながら、どのように復興事業を進めていったのかの説明を受けました。心に残った



野田村の復興状況をジオラマで

ことは、この村でも数十人の死者が出て、多くの住宅が津波で流されたりして、ここまで復興するまで大変です。今ではすっかり道路も住宅地、公共施設なども整備され、元の町並みになっていました。

野田村役場から少し行っただけの高台にある、大津波記念碑に移動し、津波のあった海岸から町並みを見て、改めて津波の恐ろしさ、そしていかに日常生活の中で防災に対する住民ぐるみ



大津波記念碑



大津波記念碑にて

の活動が重要か、学んできました。

議会広報特別委員会
委員長 安藤 英博

11/19
～
11/20

長年の議会活動に功績

杉谷和穂議員に感謝状、安藤英博議員に表彰状



10月17日、青森市で開催された、青森県町村議会議長会の創立70周年記念式典において、第44代会長を務めた杉谷和穂議員に、会の発展に貢献した功労によって、青森県町村議会議長会から感謝状が贈呈されました。

また、11月13日には東京都で全国町村議会議長会の創立70周年記念式典が開催され、安藤英博議員が、町村議会議員として30年以上務められた功労により、表彰状が授与されました。

中泊町議会を行政視察 タブレット端末を議会に導入

1月29日、県道三厩小泊線整備促進交流会のため、当町議会議員が中泊町役場を訪ねました。

その交流会に先立ち、町村議会では令和元年9月に県内初となる、議会へのタブレット端末を導入した中泊町議会を、行政視察しました。



議場でタブレット操作を体験

最初に、平成28年12月に完成し、平成29年1月に開庁した新庁舎を見学。議場には議会運営ソフトウェアや赤外線会議システムが導入されており、コードレス化とスムーズな議会運営ができるように整備されている機器について、説明を受けました。

庁舎内を見学した後は、議場内でタブレットの説明を受けました。

この日は二人一組となり、実際に議事進行に合わせた形でタブレット操作を体験しました。

今回の行政視察は、かねてからタブレット端末の導入について検討を重ねてきた当町議会にとって、今後の参考となるものでした。

ようこそ議会へ

12月10日、蟹田小学校の6年生23名が町議会12月定例会の傍聴に来ました。
この日は実際の町議会を見学し、午前の一般質問を傍聴しました。
感想文をお寄せいただきましたので、掲載します。



感想



うちむらこな
内村 瑚々奈

いろいろな質問や返答を聞いて、町のみんなのために話し合いをしているのだなと思いました。いろいろな問題も解決しているのだなとも思いました。議員さんたちは60分も質問をしていてすごいなと思いました。私たちが知らなかった問題がたくさんあって、町にはいろいろな問題があることも初めて知りました。私はもっとたくさん議員がいると思うていたけれど、思ったより議員さんが少なくてびっくりしました。



もとや
本谷 圭柊

議会を見て僕は、学校の討論会のもっと細かい話し合いのように思いました。

2つめの質問までしか見られなかったけれど、4・5番目の質問が気になりました。またできたら傍聴に行つて、最後はどうやって終わるのかも見てみたいと思いました。

あと、議会の周りを歩いた時、議員の図書室もあって、議員になつてもちゃんと勉強もしていて、とても大変なんだなと思いました。



きむら
木村 琉人

議会を見たことで、この町の直すべきところがあった、自分の意見も生まれたし、議員の方々が町民のため、こうしているいろいろな事項について話しているのも初めて見ることで、たので、今回の経験は必ずどこかで生かされると思えました。議事堂の中はとても静かで、身が引き締まる思いでした。僕はこれからは議会を続けてほしいと思いました。

編集後記

日新がないも口る仕とれたから国年後10め「ら外折目
か生らか環な減。送それ。でで5ケの合何ケし指蓬
ら外、つ境く少こりが。自面終ケ年優併度浜、し田
再ケ親た下50とのが。立倒了年間遇町も飛た以
ス浜離町に%、15来いこ、順す見るこが。次る付金、をすは、の
タ町れ村あ%高年なわこ、順す見るこが。次る付金、をすは、の
ーがしとる予齡間くばの、順す見るこが。次る付金、をすは、の
記トこの自を、さ比急の元月で強16年額、をすは、の
る4立並合れ率激のから調年間は15の額
慶。月すべ併厳もなで満さ目は15の額
市1るなし

議会広報特別委員会

委員長：安藤英博

副委員長：福井洋一

委員：浜谷恭市 / 戎 修
高坂 茂 / 原 芳雄
記田慶市